



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2016 8



7月1日(金)、兵庫県民会館において「第94回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催。県内の農協 (JA)・漁協 (JF)・森林組合 (JForest)・生協の組合員や役員など、300人がつどいました。また、studio-L 代表 山崎 亮氏が「協同(人のつながり)の力で地域の課題を解決しよう! ~兵庫の協同組合に期待しています~」と題して記念講演を行いました。(関連ページ P.3)



生活協同組合連合会  
大学生協阪神事業連合 専務理事

**末松 泰信**  
(すえまつ・やすのぶ)

## 京阪神北陸地区の事業連帯、 地域連帯にあたって

今年9月に、阪神事業連合と京都・北陸の3つの事業連合が合併し、あたらしく、「関西北陸事業連合」が発足する予定です。これにより、北陸3県、京都・滋賀・奈良・大阪・和歌山・兵庫と2府7県の広域連合体となり、49の会員生協・342の店舗数・38万人の組合員数・461億の供給高・年間5000万人の利用者数となることから、それに対応すべく組織整備を進めているところです。

遡ること、2011年に神戸（兵庫）と大阪（大阪・和歌山）の2つの事業連合合併によって現在の阪神事業連合となり、約5年の準備期間を経て今回に至りますが、一つに、来るべき2018年問題など若者の人口減を背景に、各大学は特徴を活かし個性を示しながら同時に財政改革を余儀なくされていること、もう一つは、大学生協として高騰し続ける物流やシステムなどのコスト抑制を行いながらも高い次元の仕組みの整備が急務であること、これらに早期に対応するために広域連帯を進めているところです。一言では言い難いのですが、「大学・大学構成員・組合員への多様なニーズに対して応

え続ける企画提案力」「それを支える大学生協のインフラの整備」「実現するための人材の確保と育成」の3点が目指すべき課題と言えます。

一方で、もちろんのこと、主役は組合員であり会員生協であり、そしてそこで就労する職員であります。皆それぞれにとって大切な土地であり、そこに共に生きる人たちとの接点がたくさんあり、それぞれ地域コミュニティとの密接なかわりがあつてこそ、生協運営は活性化されるものであることは言うまでもありません。

組織が大きくなれば万事解決するものでもなく、経済的な合理性を追求しつつ、地域間連携は育まなければならぬ、その矛盾と難しさを（正直に）感じながらの毎日ではあります。これからの大学生協は、大学とともに大きな改革を続けていくことになりませんが、兵庫県内の生協関係者の皆様との関係性をより大切に連携をより深め、そしてお知恵とお力を借りながら進めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

### CONTENTS

- 2. 想点
- 3. 「第94回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」報告
- 4. 「医療生協協会 研修会」報告／「労働安全衛生研修・学習会」のご案内

- 5. 単協通信 姫路医療生活協同組合  
たじま医療生活協同組合
- 6. 協同組合のかけ橋
- 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
- 8. 東日本被災地支援活動のご案内／県連日誌／編集後記

# 国際協同組合デー・ 兵庫県記念大会を開催

7月1日金、兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、「協同の力で未来を拓く」をテーマに、「第94回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催しました。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）を組織する農協、漁協、森林組合、生協の主催者団体の組合員、役員など、300人が参加しました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では毎年7月の第1金曜日に開催しています。また同日に、第33回兵庫JCC委員会が併せて開催され、各協同組合（連合会）のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

当日は、六反田玲子さん（兵庫県漁業協同組合連合会）の司会で開幕。兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、合わせて300人が参加。会場は満席になりました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県農業協同組合中央会 石田正会長が挨拶。続いて、兵庫県農政環境部部長 新岡史朗様、神戸市経済観光局農政部部長 長沢秀起様からご祝辞をいただきました。

最後に、生活協同組合コープこうべ理事 岡本孝子さんが「協同組合は地域・社会に貢献できるかをテーマに次世代に向け、協同組合間協同の連携関係を継続させる取り組みをさらに前進させます」と、「第94回 国際協同組合デー・兵庫JCC宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部の記念講演では、studio L代表 山崎 亮氏を迎えて、「協同（人のつながり）の力で地域の課題を解決しよう！〜兵庫の協同組合に期待しています〜」と題して記念講演。さまざまな人が試行錯誤を繰り返す中で、それぞれの役割を發揮したり、出来る・出来ないではなく、多くのアイデアを出し合うことが地域の課題解決につながることを、各地の市民参加型のプロジェクトでわかりやすくお話しいただきました。また、協同組合方式で地域の活動を活性化させることの大切さを学びました。



挨拶する 石田 正 JCC 副会長 (JA 会長)



兵庫 JCC 宣言を読み上げる  
生活協同組合コープこうべ  
岡本 孝子 理事



講演される  
山崎 亮 氏



神戸市 長沢 秀起  
経済観光局 農政部 部長



兵庫県 新岡 史朗  
農政環境部 部長

## 第94回国際協同組合デー・兵庫 JCC 宣言

国連が宣言した「国際協同組合年」から4年が経過しました。私たち兵庫 JCC（兵庫県協同組合連絡協議会）は、協同組合間の連携を更に強める取り組みをすすめるとともに、協同組合の果たすべき役割とは何か、今一度原点に立ち戻り見つめなおしてきました。

農協・漁協・森林組合・生協が連携し「協同組合の持続的発展」に向け、昨年度は、次世代を担う協同組合の職員が参加し、交流と学びを目的に全3回の連続講座「虹の仲間づくりセミナー」を開催しました。今年度も引き続き「虹の仲間づくりカレッジ」を開催し、協同組合間の連携を更に強め、協同組合としての人材育成をすすめてまいります。

協同組合は、「共通の経済的・社会的・文化的ニーズを満たすことを目的とする、自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である」と定義されます。「協同組合の価値は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とし」、「協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする」とされ、これらの価値を「実践するための指針」が協同組合（の7つの）原則です。

人口減少、少子高齢化がすすむ中、私たち協同組合は今一度この原点に立ち戻り、人を基盤とし、助け合いの精神を高く掲げ、自らの意思と責任で、地域や暮らしを守り、将来に渡り地域になくてはならない存在となるよう、持続発展させていかなければなりません。

本日、第94回国際協同組合デーの開催にあたり、農協・漁協・森林組合・生協など兵庫県内の協同組合に集う私たちは、「協同組合は地域・社会に貢献できるか」をテーマに、次世代に向け、協同組合間協同の連携関係を継続させる取り組みをさらに前進させます。そして「協同の力で未来を拓（ひら）く」をスローガンに、心を一つにして、暮らしよい兵庫と協同組合の発展をめざし、一層努力していくことをここに宣言します。



「第33回兵庫 JCC 委員会」が開催されました

兵庫 JCC =  
兵庫県協同組合連絡協議会 = とは  
【Hyogo-ken Joint Committee  
of Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）は、兵庫県下の JA（農協）、JF（漁協）、森林組合（JForest）、生協の4協同組合の相互交流と連携強化を目的に、第62回の協同組合デーを機に設立したもので、今年で33年を迎えます。

## 「兵協連医療生協部会 研修会」を開催

7月21日(木) 14時～17時、兵庫県農業共済会館において「医療生協部会 研修会」を開催。「支部活動、班活動における担い手・後継者づくり」をテーマとして8医療生協の役職員、組合員あわせて81人が参加しました。

研修会では、医療生協さいたま 本部けんこう文化部 組合員サポート課 杉野亜希子氏を講師に「ニーズにあわせた医療福祉生協へ～組織改革と担い手づくり～」と題して、改革に至った背景や活動の見直しなど、地域包括ケア対応も含めた今後の課題について事例を挙げてお話しいただきました。また、少人数グループに分かれて行われた意見交換では、医療生協さいたまの活動について具体的な運用方法などの質問が飛び交いました。

参加者からは「出来ないではなく、誰もができる活動でなければと仰られたこと、本当にその通りだと感じました。」「どの医療生協でも抱えている問題について、解決へのヒントを多くいただきました。」などの感想が寄せられ、有意義な研修会となりました。



## 兵協連 第7回「労働安全衛生研修・学習会」のご案内

今回は、労働基準法と労務管理のポイントについて、解説いただきます。働きやすく、安全な職場環境のあり方について、一緒に学びましょう。労務・安全・健康管理に携わる役職員の皆さまのご参加をお待ちしています。



講師：茶園 幸子氏

### 「労働安全衛生研修・学習会」

- ◆日時：10月26日(水) 14時～16時30分
- ◆会場：兵庫県民会館 9階「901」
- ◆対象：会員生協・団体の役職員（定員36名）
- ◆講師：茶園 幸子氏（社会保険労務士・元 神戸東労働基準監督署長）
- ◆テーマ：「もう一度、基礎から学ぶ 労働基準法」

- ◆お申し込み・お問い合わせ  
兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634



昨年の学習会の様子

### 「福祉介護センターひがし」移転

『福祉介護センターひがし』は、双葉町の生協本部東隣に建設中であった建物が完成し、7月4日移転オープンしました。新しい『福祉介護センターひがし』には、1階に居宅介護支援事業所と訪問入浴サービス、2階に訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、定期巡回・随時対応サービスの事業所が入りました。

これにより双葉町地域には、『生協本部』『福祉介護センターひがし』『福祉介護センターつどい』がバス通りに沿って立ち並びました。道路を一本北へ入ると『小規模多機能ホームふるさと』が、もう少し北には『共立病院』があり、地理的にもより一層、連携のとりやすい環境となりました。

姫路医療生協は、「地域包括ケア時代―誰もが、その人らしく、気持ちよく生きる」ことができるまちづくり」(2016年度総代会スローガン)をすすめています。地域包括ケアを推進するためには、在宅生活

を支援するためのサービスの充実、とりわけ、24時間・365日の在宅生活を支援する「定期巡回・随時対応サービス」や「小規模多機能型居宅介護」等のサービスをひろげることが重要と考えています。中重度の要介護者や認知症高齢者への対応をさらに強化し、法人内外を問わず、地域の医療機関、介護事業所間の連携しながら地域包括ケアのあるまちづくりを尽力してまいります。

(通信員 岡田 佐織)



### 恒例「きたみ支部」バーベキュー大会開催

7月6日(水)毎年恒例のきたみ支部バーベキュー大会を開催しました。きたみ支部は、城崎、竹野、豊岡市、港地区のそれぞれの頭文字をとってつけられた名前です。豊岡市竹野町の「たけのこ村」に16人が集まりました。

支部長の高尾さんが準備した豪華但馬牛は、やわらかくジューシーで「多少歯が弱っていてもかみ切れる」と大好評でした。野菜もたくさん準備されました。変わり種として、か

ぼちやを半分切った種を取り、そこにはちみつを入れてアルミホイルで包んで焼いたものがありました。1時間ほどでホクホクしておいしい焼きかぼちゃができました。ただ皮が黒焦げだったので、「次は焼き時間を40分にしよう」と、ミニ料理教室が

開かれていました。

最後は焼きそばでしめました。あっさりめの味付けで「あれだけ食べたのに、まだ食べられる」と、どんだんお腹に入っていました。

最後は「来た時よりも美しく」と言いながら、みんなで片付け、掃除をしました。年に1回顔を合わせる方もおられ「また来年お会いしましょう」と言って解散しました。

(通信員 春木 圭介)



# 協同組合のかけ橋

JF

## 兵庫県水産振興基金

### 「高砂あなごの今後を考える」フォーラム 開催 ～高砂2JFの漁業者がパネリストとして参加～

6月28日(火)、高砂市のキッコーマン高砂工場において「高砂あなごの今後を考える」フォーラムが約150名の参加者が集まるなか開催されました。

このフォーラムは地元産アナゴを使って高砂市を活性化させようと、高砂あなごマーケティング研究会が主催したもので、地元産アナゴが少なくなってきたなか、今後どのように街の活性化につなげていくのかを考えるきっかけになればと企画されました。

この日は作家 玉岡かおる氏による「ふるさとの味を誇れる未来に向けて 伝えよう高砂の食の歴史と想い」と題した記念講演があり、アナゴ料理の魅力などについて話された後、パネルディスカッションが行われました。玉岡氏がコーディネーターを務め、高砂漁協水産研究会 松本 浩次会長、伊保漁協水産研究会 大西 正起会長ら6名がパネラーとして壇上に上がり意見を交わしました。両会長は揃って「アナゴが獲れなくなった」とされたうえで、松本会長が「昔は沢山獲れたので“アナゴ休み”として漁を休んだ。今は網目を大きくするなどの対応をしているが（アナゴは）増えてこない」、大西会長は「漁獲が減り、漁業者の減少も進んでいる。新しい人が就業するにしても厳しい世界ではある」と漁業の現状を訴えました。他に、近畿大学富山実験場 山田 伸一実験場長補佐からアナゴの畜養試験の方法や今後の可能性などの意見も出され、参加者は熱心に聞き入っていました。



漁業の現状を訴える松本会長（左）と大西会長



JA

## JA グループ兵庫

### 一日も早い復興を —熊本地震 JA グループ支援活動—

全国のJAグループは、4月に発生した熊本地震に対する物的・人的支援や募金活動を行っています。

現地では農家や選果場の職員が被災し、人手不足が深刻です。JAグループの役職員が協力して「JAグループ支援隊」を結成し、出荷を迎えた農産物の収穫、選果や箱詰め作業等を行いました。本県からはJA・連合会の職員23人が参加。現地の組合員やJAから、支援隊の取り組みによって営農意欲が復活した等の声が寄せられました。

また、JAグループ兵庫は募金活動に取り組むとともに、JAグループ熊本の災害対策本部に見舞金100万円を贈りました。JAグループ兵庫支援隊に同行して6月2日、熊本県の対策本部を訪れたJA兵庫中央会の浜田充専務は「兵庫県は阪神・淡路大震災で被災し、全国から支援をいただきました。今度は支援する立場であり、被災地の一日も早い復興を願っています」と話しました。



トマトの選果を行う  
JAグループ支援隊  
(日本農業新聞提供)



見舞金を手渡す浜田充専務（左）



最近の消費生活相談事例

## 通信販売の商品返品

### 事例

テレビショッピングで、脚用のマッサージ機を購入した。届いてすぐに開封し、使ってみたが使い心地が悪かったので、返品しようと業者に連絡した。すると、「開封後の返品は受け付けられない。テレビでも伝えているし、商品に同封した書類にも記載している。」と言われ、返品に応じてくれない。

### 【アドバイス】

テレビ、ラジオなどのショッピング番組やカタログ、インターネットで商品を選ぶ機会がごく日常的になりました。これらの通信販売は、現品を手にとって確認していないことから、「イメージしていた物と違っていた」ということも起こります。

通信販売にはクーリング・オフ（無条件での解約）はなく、事業者が返品の特約（返品の可否と返品可能な場合の条件）を設けている場合は、それに従うことになります。「返品不可」の特約なら返品はできません。返品ができる場合でも、「開封後の返品は不可」「使用後は返品できない」「10日以内なら返品可」など一定の条件が定められており、注意が必要です。

広告などに返品特約の表示がない場合、商品を受け取った日を含めて8日間以内であれば、消費者が送料を負担することで返品できることになっています。

このマッサージ機の場合は、「未開封・未使用品に限り8日間の返品を受ける」と記載されており、返品できませんでした。

テレビショッピングを利用して商品を購入する際は、番組からの印象だけで購入を決めず、商品の使い方や使用上の制限、返品の制度があるか、業者の連絡先などについて確認しましょう。そして、商品が手元に届いたら「注文した商品とっていないか」「壊れていないか」「サイズや色が注文したものかどうか」など、すぐに中身を確認しましょう。

(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

兵協連だよりをご覧のみなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

暑い、暑い、夏がやってきましたね。蝉の声と湿気をたっぷり含んだ熱気だけで、じっとり汗をかいてしまいます。

さて、ひょうご消費者ネットは、今年も兵庫県内3か所でシンポジウムを開催する予定です。今年のテーマは「ストップ!ザ泣き寝入り」です。消費者被害に遭ってしまったとき、泣き寝入りをしない強い消費者になろう!これが大きなテーマです。シンポの内容は、突然の訪問販売などの法律の規制のあり方、それから、消費者被害の拡大防止のための適格消費者団体の活用法、さらに最新の法律改正のことなどを考えています。みなさまと一緒に楽しく考えることができる機会にしたいと思っています。シンポの日程は10月1日(土)に西播で、11月5日(土)に丹波で、最後に、12月3日(土)に神戸で開催の予定です。各会場などの詳細はまたホームページ等でお知らせ致します。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

# MOVE

## 2016年度東日本被災地支援活動のご案内

2013年度から宮城県山元町への支援活動を開始し、今年で4年目を迎えます。2016年度も引き続き、NPO法人INGと連携して、「被災と復興の教訓を学び、予想される大災害に備え、活かしていく」という目的を継承すると同時に、東日本大地震の“被災地を忘れず、被災地に寄り添う”ために、引き続き東日本地震被災地支援活動をすすめてまいります。会員生協の役職員皆様のご参加のほど、宜しくお願い申し上げます。

### 2016年度支援活動日程について

	日程	活動内容
第1回	10月7日(金)～8日(土) 山元町花釜まつり参加	●1日目：伊丹空港(19時集合) 仙台空港(21時頃到着)⇒センターへ ●2日目：山元町『花釜まつり』ボランティア 午後：後片付けボランティア 仙台空港(19時頃)⇒伊丹空港(21時頃着)～解散
第2回	12月9日(金)～10日(土) クリスマスプレゼント募集!	●1日目：伊丹空港(19時集合) 仙台空港(21時頃到着)⇒センターへ ●2日目：山元町へ支援ボランティア ☆クリスマスプレゼントを渡しましょう! 午後：後片付けボランティア 被災地見学 仙台空港(15時15分頃)⇒伊丹空港(16時50分着)～解散
第3回	3月10日(金)～12日(日) 震災6年の現地を回ります	●1日目：伊丹空港(19時集合) 仙台空港(21時頃到着)⇒センターへ ●2日目：山元町へ支援ボランティア 午後：福島県 富岡駅 近辺 訪問 ●3日目：石巻・女川町 被災地見学 仙台空港(17時30分頃発)⇒伊丹空港(19時15分頃着)～解散

### 支援ボランティア活動の一例

- ①仮設住宅での健康チェック、ふれあい喫茶などの応援
- ②被災者との懇談会、被災地個別訪問など応援
- ③花釜まつり(10月のみ)の応援

### 募集人数

第1回～第3回共に  
購買生協1名、大学生協1名、医療生協1名、  
共済生協1名 計4名  
\*応募多数の場合は事務局にて分野別生協ごとに抽選で調整させていただきます。

お申込み・お問い合わせは **兵庫県生活協同組合連合会事務局** までお願いいたします。  
TEL:(078)391-8634 E-mail:hyogo@kobe.coop.or.jp

## 県連日誌

8月1日(月) 兵協連第2回理事会・  
第15回兵庫県企画県民部と  
兵協連理事會との懇談会

8月4日(木) 兵協連緊急通行車両担当者会議  
(県民会館 1201)

8月7日(日) 兵協連ピースアクション2016  
(県民会館 ばら)

8月8日(月) 兵協連第1回大学生協部会  
(垂水 レバンテホール)

8月23日(火)～24(水) 兵庫JCC「虹の仲間づくり  
カレッジ」(三木市)

8月29日(月) 兵協連第28回近畿地区生協・  
行政合同会議  
(県民会館 パルテホール)

### 編集後記

着任して一か月がたちました。1日はなぜ24時間しかないの??というくらいあつという間でした。今、一番大きな悩みどころ：編集後記です。前任の中尾さんの時には編集後記の隠れファンがいらしたとか。プレッシャーです！

兵協連だよりを作成する中で、8ページの紙面に本当に多くの方が関わってくださっていることに驚きとともに発行できました。ありがとうございます。皆様のやりとりの中で失礼の数々があつたかと思ひますがどうかお許しください。そして、会員生協みなさまの活動をたくさん掲載していければと思っておりますので、活動紹介(単協通信)を是非お寄せください。お待ちしております。どうぞよろしくお願ひいたします。(大戸)